

商品市況展望

平成 24 年 10 月 28 日記

「本所に過ぎたるものニッあり、津軽大名、炭屋塩原」

中学 2 年になる娘が、学校の伝統芸能の授業で、国立劇場での歌舞伎観劇に行ってきた。演題は「通し狂言 塩原太助一代記」だったそうだ。

あらすじをごく簡単に言えば、群馬の農家に生まれた塩原太助が、江戸に出て炭商として立身出世するまでの物語だが、明治時代の初めに落語家・三遊亭円朝が、人情噺「塩原太助一代記」を世に出し有名になったものらしい。らしい…というのは、残念ながら当方はこの落語を聞いたことがないし、歌舞伎というのもまだ一度も見たことがないからだ。

「えっ？今の中学生って歌舞伎なんか行くの？」と女房に聞いたら、「何言ってるの？私たちの時も見たわよ！」と言われた。

ふ～ん。そうなのか。都会の学校っていうのはそうなのか！ 残念ながら当方が育った津軽では、そんな授業はなかったな。そもそも歌舞伎をやる場所も無いしね。

閑話休題。ちょっと前にテレビで見たのだが、日本の伝統芸能である「能、狂言、歌舞伎」の違いは何？っていう話が非常に面白かったので、ここで紹介しておく。

簡単に言えば、能＝ミュージカル、狂言＝コント、歌舞伎＝ストリートパフォーマンスなんだという。特に狂言は、ドリフのコントとほぼ一緒だって、再現ドラマ風にやっていた。なかなか判りやすかった…（笑）

でも残念ながら、能も狂言も、やっぱり当方は一度も見たこと無い。オペラなら見たことあるけど、お前それでも日本人か！と言われても、返す言葉もない。

さて冒頭の「本所に過ぎたるものニッあり、津軽大名、炭屋塩原」は江戸人の言であるわけだが、当時の本所・深川というのは、いわゆる川向うであって、隅田川を渡るといのは島流しと同じような意味だったらしい。

旗本・御家人は將軍家に睨まれると本所に流され、あまりの湿気の多さに元に戻してくれと泣いて頼んだという話も残っているという。また町人も悪さをして江戸に居られなくなると、決まって本所・深川に身を隠す。ほとぼりの冷めるまで隅田川を渡るということはなく、本所の町屋は怖いところで、江戸の人は近づくことはなかったそうだ。

そこにあったのが、10 万石の大名・津軽藩上屋敷と塩原邸。なるほど、ウチの田舎の藩主は本所に住んでたんだな…という話で、何となく本所・深川と塩原太助には縁を感じる次第。

もちろん当方のウチは武家なんかじゃなく、苗字に田が付いてるんだから、きっと百姓だろう。爺さんはリンゴ屋だったが、リンゴ屋っていうのはリンゴ農家ではなく、農家から買い付けて出荷する中卸しの事だ。まあどうでも良い話だが、相場屋と似てなくもない。

津軽・弘前藩が本所に流された…？顛末については、「すみだあれこれ」という HP でどうぞ！

<http://www.sumida-gg.or.jp/arekore/SUMIDA024/guide/g-26.html>

〔貴金属〕

○東京金日足
…削除済み…

今週の金の値動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
10月22日	¥4,415	-14	¥4,429	-10
10月23日	¥4,430	15	¥4,438	9
10月24日	¥4,385	-45	¥4,396	-42
10月25日	¥4,396	11	¥4,425	29
10月26日	¥4,409	13	¥4,389	-36

金相場は、先週号においては『NY金はWトップ形成済みで、東京金はWトップ形成中を感じさせる格好である。またファンドもETFも買い残が徐々に減少に転じており、相場は調整局面入りをしているだろう。大きな突っ込みを期待したい』とコメントした。

今週の相場展開は、4,550円(10/5)から下げ始めた相場が4,400円割れまで下落。今週の安値は4,373円(10/25)を記録した。

チャートは徐々にWトップの形成をしようとしており、4,550円→4,373円まで177円の下落中。4,363円を割り込めばWトップが完成するが、今のところまだそれは割れておらず、4,400円を挟んだ動きとなっている。

さてもしも今後4,363円を割り込んで崩れるとするならば、チャートでは最大で4,550円-4,363円=187円幅の倍返しの下げ、つまり4,176円までの下げが有り得るだろう。その辺は6~7月のもみ合いの高値圏であり、無いとは言えない水準だろう。

もっとも相対力指数は70ポイント超→50ポイント割れまで調整を終えており、…中略…

ただしいずれにせよ、現在調整局面入りしていることは、ほぼ確実だ。これを脱して再び上昇を開始するきっかけとして、30日に行われる日銀による追加金融緩和が、果たして材料視されるのかどうか？という話であろう。

日銀の政策が、国際金価格に影響する事なんてあるの？という疑問もあるかもしれないが、少なくとも為替には影響するはず。…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥4,229	10月27日	¥4,652	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,409
2012年12月	¥4,037	12月26日	¥4,654	2月27日	¥3,808	12月30日	¥4,381
2013年2月	¥4,654	2月27日	¥4,654	2月27日	¥3,885	6月4日	¥4,384
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥4,546	10月5日	¥3,886	6月4日	¥4,387
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥4,548	10月5日	¥3,940	7月24日	¥4,387
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥4,550	10月5日	¥4,166	9月3日	¥4,389

週末には2012年10月限が納会したので、週明けは2013年10月限が発会する。

○NY 金日足

…削除済み…

週末 10/26 の NY 市場は、前日比 1.1 ドル安の 1711.9 ドルでの終了。安値は 1701.4 ドルまであったが、この日は 1700 ドル割れを回避した。国内換算では 15 時半比 4 円高で、ちょい戻しである。

この日発表された米 GDP は、前期比 2.0% の増加で事前予想よりも良かった。これで一旦は買われたが、景気が良いなら QE3 は長く続かないのだろうという見方も出て、結局は前日比でそんなに変わらない展開での終了だ。

チャートでは 1738 ドルを割り込んで、すでに W トップは形成済み。1798.1 ドル (10/5) まで上昇し、1800 ドルの壁に跳ね返されて下落に転じた相場は、すでに 1698.7 ドル (10/24) の安値まで記録している。ちょうど 100 ドルほど高値から下落したわけだが、現在は 1670 ドル辺りが下値支持線となっている模様。

なお CFTC 発表の 10/23 現在のファンドのポジションは、…中略…

ファンド買いは先週 9 週ぶりの減少となり、今週は 2 週連続の減少である。

10/26 現在の ETF 残高は…中略…

結論として当方の相場観は、30 日以降の相場が目先の山場になるだろう。下抜けした場合は 4,100 円台までの下げの可能性があるが、持ち直した場合は再び高値更新へと向かう相場となるだろう。正念場である。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの動き

	10月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
10月22日	¥4,175	-36	¥4,175	-24
10月23日	¥4,147	-28	¥4,142	-33
10月24日	¥4,066	-81	¥4,057	-85
10月25日	¥4,110	44	¥4,093	38
10月26日	¥4,046	-64	¥4,021	-72

プラチナ相場は、先週号においては『やや弱めの逆張り相場だと見ている。本格的な買いは、急落場面を見てからだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、断続的に下落した相場が 4,050 円を割り込んで W トップを形成。4,010 円の安値まで記録し (10/25)、週末の夜間取引では 3,971 円の安値まで記録。ついに 4,000 円の大台も割り込んだ。

4,395 円 (10/5) → 3,971 円までの下げ幅は 424 円に及び、金の下げ幅 177 円を大きく上回る。南アの鉱山ストはまだ続いており、アングロ・プラチナム社も生産高の下方修正 → 供給不足を予想するに至っているが、それよりも現在は世界的な景気低迷 → 自動車を中心とした需要低下の懸念が下げに拍車を掛けているのが現状である。

週末の NY プラチナは、…中略…

1596 ドルを割り込んでの W トップ形成済みである。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	¥3,918	10月27日	¥4,570	3月14日	¥3,375	12月30日	¥4,046
2012年12月	¥3,605	12月26日	¥4,582	3月14日	¥3,471	7月24日	¥4,017
2013年2月	¥4,535	2月27日	¥4,589	3月14日	¥3,468	7月24日	¥4,009
2013年4月	¥4,090	4月25日	¥4,381	10月5日	¥3,466	7月24日	¥4,014
2013年6月	¥3,681	6月27日	¥4,386	10月5日	¥3,460	7月24日	¥4,014
2013年8月	¥3,860	8月29日	¥4,395	10月5日	¥3,807	8月31日	¥4,021

○プラチナー金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,021 円 (プラチナ) - 4,389 円 (金) = -368 円。

…中略…

結論として当方の相場観は、W トップ形成からの投げ相場で大きく崩れた相場であり、世界景気の低迷 ~ 需要低下懸念が最大の弱材料である。しかし採算ラインは 1500 ドルと言われている中で、すでにそれに接近している。ぼちぼち買い場が近いのかもしれない。

〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	1月限(当限)	前日比	11月限(先限)	前日比
10月22日	¥27,650	40	¥25,710	100
10月23日	¥27,700	50	¥25,520	-190
10月24日	¥27,700	0	¥25,460	-60
10月25日	¥27,700	0	¥25,660	200
10月26日	¥27,750	50	¥25,370	-290

まずはコーンから…

先週号においては『先物を除いては未だ高値持ち合いのままであるが、需給相場初期という事もあり、上値は重いだらう。どちらかと言えば戻り売りに分があると考えるが、ファンダメンタルズからさほどの急落もないだらう。逆張りの展開である』とコメントした。

今週の相場展開は、25,000円台での横ばい。

2013年11月限が大きく窓を開けて発会したが、その後は完全に横ばいである。この25,000円台という価格は、今年为天候相場序盤の安値である6月の21,000円と、8月の高値3万円のほぼ中間地点。

当初、史上最大の作付面積を囃して安値を出し、その後ホット&ドライで大暴騰し、天井を付けて今に至った相場である。需給相場期にこれ以上のインパクトのある材料が出るはずもなく、おそらく今後ともみ合いが続くのだらう。面白い相場ではない。

一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年1月	¥21,790	12月16日	¥30,950	8月22日	¥20,520	6月4日	¥27,750
2013年3月	¥23,290	2月16日	¥30,340	8月22日	¥20,820	6月4日	¥27,750
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥30,300	8月13日	¥21,040	6月4日	¥27,690
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥30,300	8月13日	¥21,490	6月18日	¥27,540
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,510	10月1日	¥27,020
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥25,800	10月19日	¥25,210	10月17日	¥25,370

問題は中物と先物の逆ザヤが、今後詰まる方向に向かうのか？拡大する方向に向かうのか？であろう。ちょっと判断しづらいところであるが、消費国の需要動向次第か。

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末10/26のシカゴ市場は、12月限で4.25セン安の737.75セントでの終了。13年12月限は0.50セント高の635.25セント。

CFTC 発表の 10/16 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、まだもみ合い継続の相場であろう。逆張り対処で、少ない値幅をちよつとずつ取るしか無い相場であろうと考える。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	12月限(当限)	前日比	10月限(先限)	前日比
10月22日	¥54,800	-140	¥48,540	440
10月23日	¥54,750	-50	¥48,530	-10
10月24日	¥55,030	280	¥48,800	270
10月25日	¥55,300	270	¥49,010	210
10月26日	¥55,150	-150	¥48,410	-600

続いて一般大豆です…

先週号においては『東京市場 47,000 円、シカゴ市場 15 ドルを割り込んだ事で、目先の底入れとなったのかもしれない。しかし戻りは限定的と思われ、相応の戻りはまた売られるだろう。2 番底を付けに行くと考える』とコメントした。

今週の相場展開は、25 日までは戻り相場で 49,000 円台まで回復したが、週末には反落。一目均衡表の雲で跳ね返された展開である。

発会したばかりの先物 10 月限は 46,920 円→49,300 円 (10/26) まで 2,380 円の反騰となったが、その後はちょっとダレた。

相変わらず相場は大幅逆ザヤとなっており、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 12 月	¥37,500	12 月 16 日	¥63,950	7 月 23 日	¥36,830	12 月 16 日	¥55,150
2013 年 2 月	¥41,900	2 月 16 日	¥60,000	7 月 23 日	¥41,050	2 月 16 日	¥52,340
2013 年 4 月	¥45,350	4 月 16 日	¥56,480	7 月 23 日	¥41,750	6 月 4 日	¥51,030
2013 年 6 月	¥44,700	6 月 18 日	¥52,190	7 月 20 日	¥44,400	6 月 18 日	¥49,600
2013 年 8 月	¥48,020	8 月 16 日	¥51,810	9 月 5 日	¥47,620	8 月 17 日	¥48,850
2013 年 10 月	¥47,220	10 月 16 日	¥49,300	10 月 26 日	¥46,920	10 月 16 日	¥48,410

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末 10/26 のシカゴ市場は、11 月限で 2.75 セント安の 1561.25 セント。シカゴも逆ザヤであり、2013 年 11 月限だと 1339.75 セントと 13 ドル台である。ただし週末は、期近安の先物高となっており、若干だがサヤの縮小方向に向かっている。

期近の相場は、1789 セント (9/4) →1485.75 セント (10/15) まで下落の後、反発に転じて来ているのが現在の状況。3 ドル下げて、80 セントばかり戻したというのが現在である。

チャートを一見すれば誰でも判断できるが、1789 セントは今年天井だろうが、一方で 1485.75 セントからの下値もしれているはずだ。

…中略…

問題は、ではこれからは？という事だろうが、この需給相場期には南米は季節が逆なので天候相場期だが、そこで再びホット&ドライなどが起きれば急騰だろうし、無ければ結局は横ばいと考えるのが妥当だろう。おそらく戻しても16ドルが戻りいっぱいだろう。

では逆に大暴落があるかと言われれば、その可能性も薄い。米国大豆の在庫率は前回発表で0.2%アップしたとは言え、4.5%という低水準な在庫率なのだから、下値もしれているはず。結論としては、大相場を期待せず、逆張り対処が妥当なのが今の時期だろう。

なおCFTC発表の10/23現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、46,000円台～49,000円台でのみみ合い相場が続くだろう。南半球での天候懸念が発生しなければ先物の5万円回復は難しいだろうし、かと言って暴落してゆくような相場でもないだろう。逆張りでの対処がベターと見る。

[ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

今週のゴムの値動き

	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
10月22日	245.0	-3.0	254.4	-1.0
10月23日	243.3	-1.7	251.3	-3.1
10月24日	241.8	-1.7	251.3	0.0
10月25日	244.5	2.9	260.4	9.1
	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
10月26日	248.5	-3.0	259.5	

先週号においては『チャートは三尊天井型になってきており、今の世界景気の動向を考えるとゴム需要は落ち込むだろう。よって、275.5円で天井を打っているとの見方である』とコメントした。

今週の相場展開は、247.0円(10/24)まで下落したが、25日は急反騰。260円台まで戻した。

当方が天井を打ったとした275.5円(10/5)→247.0円(10/24)までの下げ幅は28.5円であり、そこから15円ほどは戻したわけである。反騰した原因は、80円台まで進んだ円安を手掛かりにショートカバーが出たことだ。

…中略…

ただし275.5円を上抜けるか、247.0円を下抜けるかと言えば、247.0円を下抜ける可能性の方がまだ高いだろうという見方である。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年10月	307.2	4月24日	317.8	5月2日	200.9	8月15日	244.5
2012年11月	267.8	5月28日	274.0	5月30日	203.6	8月15日	248.5
2012年12月	233.3	6月26日	271.5	10月5日	204.5	8月15日	250.5
2013年1月	230.2	7月26日	272.7	10月5日	205.6	8月14日	253.0
2013年2月	230.0	8月26日	274.2	10月5日	216.4	8月31日	255.5
2013年3月	253.5	9月25日	275.5	10月5日	247.0	10月24日	257.7
2013年4月	262.1	10月26日	263.9	10月26日	258.5	10月26日	259.5

当先のサヤは、11月限248.5円～4月限259.5円と**11.0円の順ザヤ**。10月限は244.5円での納会となり、その後順ザヤ幅は拡大である。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、10/10現在で354トン減の5,706トン。15旬連続の減少であり、国内在庫の低下は続いている。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、23,000 元台まで下がっていたのが、25 日だけは急反騰。一瞬だけ 25,000 元台を回復した。

ゴム独自の材料は特に出しておらず、安値から戻したのは円安要因だけだ。30 日の日銀金融政策決定会合後に円安が加速するようなら、ゴムも高値追いつける可能性が皆無とは言えないわけだが、円安だけでそうなる可能性は薄いのでは？

247 円からの反騰は、また売り場を提供するだけではないかと思うのだが、さて？

結論として当方の相場観は、275.5 円は天井であるという見方に変化は無し。247.0 円は目先底かもしれないが、大底ではないと考える。よって、戻り売りの好機が接近しているだけと見る。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

今週の原油の値動き

	10月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
10月22日	¥54,170	-290	¥52,980	-620
10月23日	¥54,250	80	¥52,550	-430
10月24日	¥54,080	-170	¥52,140	-410
10月25日	¥54,110	30	¥52,080	-60
10月26日	¥54,120	10	¥51,390	-690

まずは原油から…

先週号においては『早晩に大きく切り返せなければ、54,420円で戻りいっぱいになった可能性が高い。もしもそうならば、まずはまた50,560円を目指して下がる事となるだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は90ドル台を大きく割り込み、84.94ドル(10/24)まで下落。週末10/26は前日比0.23ドル高の86.28ドルと小幅反発しての終了である。

90ドルを大きく割り込んで85ドル割れさえもしたのは、米原油在庫の増加に歯止めが掛からないからだ。

全米原油在庫は1982年の統計開始以来の最高水準であり、世界の原油生産量も1995年5月以来の水準である。一方で世界景気の悪化により、需要に対する懸念が高まっているわけで、これでは下がるのも当然と言える。

しかし大暴落というほどにならないのは、…中略…

よって何があるか判らん…というのが正直なところだが、チャートでは100ドル→87ドルまで13ドル下げ、6ドル戻して現在9ドルの下落中だが、相対力指数もすでに33ポイントまで下げている事もあり、下げてもあってあと4ドル下げの80ドル前後では下げ止まるのではないかと思われる。

国内相場は、それプラス為替動向が重要となるので、いずれにせよ30日の金融政策決定会合次第か。国際価格は、当然の如く大統領選明けまで待たなくてはしょうがないだろう。

…中略…

また10/23現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油は、54,420円(10/17)→51,220円(10/25)と3,200円の下落中。上値は直近の高値55,540円(9/18)には1,000円ほど届かず、下値は直近の安値50,290円まで1,000円ほど残している。

つまりはまだ調整の範囲内なのであるが、今後6万円方向に向かうのか？4万円方向に向かうのか？は、まだハッキリしない。

当面は、NY 原油が 90 ドル台まで戻れば東京も上がっているだろうが、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012 年 10 月	¥57,430	5 月 1 日	¥57,710	5 月 2 日	¥44,310	6 月 26 日	¥54,120
2012 年 11 月	¥47,650	5 月 1 日	¥56,110	9 月 18 日	¥44,190	6 月 26 日	¥52,800
2012 年 12 月	¥47,580	7 月 2 日	¥56,080	9 月 18 日	¥46,240	7 月 3 日	¥52,210
2013 年 1 月	¥48,890	8 月 1 日	¥55,790	9 月 18 日	¥48,420	8 月 1 日	¥51,910
2013 年 2 月	¥53,910	9 月 3 日	¥55,540	9 月 18 日	¥50,290	9 月 21 日	¥51,660
2013 年 3 月	¥52,040	10 月 1 日	¥54,420	10 月 17 日	¥50,560	10 月 4 日	¥51,390

結論として当方の相場観は、しばらくは方向感のつかめない逆張り相場が続くだろう。国内は 30 日の日銀金融政策決定会合後の相場が為替相場の動向とともに重要だが、10 兆円分の金融緩和ならかなりの部分を織り込んだかもしれない。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
10月22日	¥65,540	-660	¥65,740	-700
10月23日	¥64,750	-790	¥65,320	-420
10月24日	¥64,240	-510	¥64,630	-690
10月25日	¥64,650	410	¥64,370	-260
	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
10月26日	¥63,240	-600	¥64,060	

続いてガソリンです…

先週号においては『67,330円が大天井なのか、目先天井なのかはまだ不明だが、とりあえずは上げ相場が終了したと考えるのが妥当だろう。もう1,000円ほど下げたとして、そこでどうなるかに注目である』とコメントした。

今週の相場展開は、断続的に下落した相場が4月限で63,000円台。週末に出た5月限も65,000円台で発会したものの、そこから1,000円値を消す展開となった。

67,330円(10/15)→64,060円(10/26)までの下げ幅は3,270円となり、調整色を鮮明にしてきた展開だ。ただし週末の夜間取引では、65,000円台まで週末の下げ分を一気に切り返しており、調整局面とは言え、一筋縄では行かない様相となっている。

チャートでは67,330円は当面の天井と思えるが、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥69,280	4月26日	¥69,690	4月27日	¥54,040	6月26日	¥64,650
2012年12月	¥61,470	5月28日	¥66,660	9月18日	¥53,530	6月26日	¥63,240
2013年1月	¥54,070	6月26日	¥66,530	9月18日	¥53,460	6月26日	¥62,210
2013年2月	¥58,670	7月26日	¥66,350	9月18日	¥58,160	7月27日	¥61,840
2013年3月	¥64,510	8月27日	¥67,170	9月18日	¥61,020	9月21日	¥62,320
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥67,330	10月15日	¥63,280	9月27日	¥63,710
2013年5月	¥65,180	10月26日	¥65,200	10月25日	¥64,060	10月25日	¥64,060

10/26現在の業者間転売価格は、…中略…

10/20現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、原油とともに調整色を鮮明にしてきた相場であるが、ハッキリとした方向感掴みづらいところ。市場の大半がそう考えるようだと、しばらくは逆張り相場が続くだろう。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	11月限(当限)	前日比	4月限(先限)	前日比
10月22日	¥68,160	-340	¥66,230	-690
10月23日	¥68,070	-90	¥65,640	-590
10月24日	¥67,810	-260	¥65,070	-570
10月25日	¥67,720	-90	¥64,890	-180
	12月限(当限)	前日比	5月限(先限)	前日比
10月26日	¥67,060	-590	¥63,590	

最後に灯油です…先週号においては『在庫逼迫も完全に解消された状況であり、先物が不需要期の限月ゆえに上値は限定的だろう。原油価格が暴落するようなら、灯油も当然大きく下がるだろうが、そこまで原油が悪いのかどうかも疑問なため、手は出しづらい状況と見る』とコメントした。

今週の相場展開は、断続的に下落した相場が、週末の5月限発会で更に下ザヤで出たために63,000円台まで下落。

チャートでは67,710円(10/17)→63,510円(10/26)までで4,200円の下落である。もちろん実際は、…中略…

そういう情勢なので、『灯油はヘッジで売った方がマシという考え方』をずっと採って来ているわけである。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2012年11月	¥70,800	4月26日	¥71,400	4月27日	¥56,350	6月26日	¥67,720
2012年12月	¥64,110	5月28日	¥70,550	9月18日	¥56,800	6月26日	¥67,060
2013年1月	¥57,800	6月26日	¥70,400	9月18日	¥57,080	6月29日	¥66,840
2013年2月	¥61,810	7月26日	¥70,230	9月18日	¥61,350	7月26日	¥65,540
2013年3月	¥67,500	8月27日	¥69,750	9月18日	¥64,440	9月21日	¥65,330
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥67,710	10月17日	¥63,320	9月27日	¥64,180
2013年5月	¥64,410	10月26日	¥64,670	10月24日	¥63,510	10月26日	¥63,590

10/26現在の業者間転売価格は、…中略…

10/20現在の灯油在庫は、…中略…

今のところ長期予報では北日本は平年並み。関東以南では、暖冬と予想されている。

結論として当方の相場観は、灯油独自の上昇要因は今のところ皆無である。長期予報では、北日本の気温は平年並み。関東から南は暖冬となっている。

[為替]

○ドル/円相場日足

…削除済み…

10/25には80円40銭台まで円安となり、この日は商品市場も大きく上げたわけだが、翌日は長い陰線で円安になった分を消し、商品市場は下落となったわけである。

ともかく80円台に久々に乗せた事は評価できるわけだが、**次の抵抗ラインは80.62円**である。

30日の日銀金融政策決定会合において、これを突破できるかどうかが焦点だろう。

…中略…

来週の主な予定は、

29日（月）臨時国会召集

30日（火）日銀政策金利・白川日銀総裁、記者会見

31日（水）ユーロ圏失業率

1日（木）米新規失業保険申請件数

2日（金）米雇用統計（10月）

などである。

○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

ユーロ/円も、104円台まで円安に進行。その後は104円を挟んでのもみ合いである。

今の商品市場には、…中略…

○ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

週末の欧米市場では、ユーロは買い戻しが入って1.2950付近までドル安/ユーロ高に。現在はもみ合いに入っている情勢であるが、ユーロが上がるのなら商品も上がる、ユーロが下がるのなら商品も下がる図式は変わらない。

…中略…

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com